



## 学校だより「馬高通信」を発行します

今年は、コロナ禍で一日体験学習が中止となり、本校の様子を十分に伝えることが難しくなりました。そこで、本校への入学を検討されている中学生や保護者の方を中心に広く多くの方々に向けて、本校の様子を知っていただくために学校だより「馬高通信」を発行することにしました。これから月2～3回発行していく予定です。ぜひ、ご覧ください。

今回は、第1号ということで、町内に下宿しながら通学している生徒の様子について紹介します。

現在、水産科の生徒で町内に下宿しながら通学している生徒が4人います。4人とも、高校から7kmほど南に行ったところで農家民宿を営んでいる佐藤さん宅で生活しています。2人は1人部屋、2人は相部屋で寝起きしています。食事は3食賄いで、家賃は月7万円ですが、那珂川町から月2万円の補助が受けられます。通学は各自、自転車や原付バイクで登下校しています。本校水産科は県外からの入学生を受け入れています。下宿については県外出身者ばかりでなく、県内でも遠隔地からの入学生には紹介をしています。現在下宿生受け入れをお願いしているのは佐藤さん宅だけですが、町内には他にも下宿生の受け入れが可能なところがあります。希望される場合は、本校までお問い合わせください(TEL0287-92-2009)。

最後に、現在下宿している神田君(水産科1年 栃木市出身)に下宿の様子について聞いてみました。

一下宿生活で良かったことは？

水産科は、いろいろな地域から入学してくるので、最初は知り合いがいないところから始まりますが、下宿に入っていたので、入学前から友人ができて学校生活がより楽しくなりました。

また下宿の食事は栄養のバランスが良くおいしいので、実習などで疲れた体を癒やすことができます。

一下宿生活でたいへんなことは？

実家に帰る機会がなかなかないので、保護者が提出する書類があるとき実家に送るのが手間です。

通学は、自転車で25分くらいかかり、結構きついです。

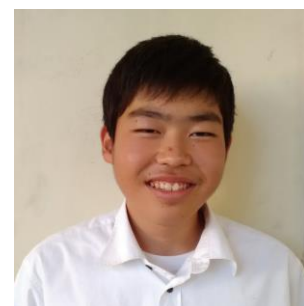
また2人部屋の場合、相手との相性も重要になります。

一下宿を考えている後輩へのアドバイスは？

よい生活習慣を身につけておくこと。

部屋をきれいにする習慣を身につけておくこと。

ご飯をたくさん食べられるようにしておくこと。



インタビューに答えてくれた神田君